



市民交流センターの愛称決定

tette (てって)

みんなが手と手をつなぎ 笑顔があふれるように

市民交流センター整備室(卸町仮庁舎) ☎(88)9183

平成30年度の完成を目指し工事が進められています(平成28年12月21日)

現在整備を進めている市民交流センターが、市民の皆さんに末永く愛され、広く活用してもらえようという愛称を募集しました。全国から届いたたくさんの方の応募作品の中から、審査の結果「tette」に決定し、平成28年12月16日に表彰式を行いました。

応募総数は**1317件**

平成28年7月15日から8月31日までの公募で、全国から1317件の応募がありました。

庁内検討委員会や管理運営協議会の意見などを踏まえ、設計者やデザイン担当者などによる選考を行い、最優秀賞に「tette」が、優秀賞に「あいてらす」など3作品が選ばれました(下の表を参照)。

選考理由

覚えやすく好感が持てる

短い言葉の中で、設計コンセプトの「様々な人が手を寄せ合う姿」を巧みに表現しており、子どもからお年寄りまで誰でも発音しやすく、やさしく覚えやすい語調で好感が持てます。

入賞作品

区分	作品と提案者	提案理由
最優秀賞(採用作品)	[tette] 箭内 富子さん(55歳) 市内古舘	[Hand to hand-手と手]から、誰でも言いやすく覚えられるように、また幼児語の手の意味「てって」からとりました。みんなが手と手をつないで、笑顔あふれるようにと想いを込めました。また、コンセプトの人が手を寄せ合うイメージにも合うと思います。
優秀賞	[あいてらす] (提案者2人) 内河 裕信さん(55歳) 神奈川県相模原市	(内河さん)施設に設けられたテラスにちなみ、ここで様々な人たちが出会い(あい)、真心が通じ合い(あい)、大きな力となって明日の須賀川市を照らす施設になるようにとの思いを込め、名付けました。 (友久さん)[あいてらす]は新施設での人との出会い、触れあい、語りあい、本との出会い、触れあい、音との触れあい、未知との出会い、学びあいなどの「あい」と、センターの各階に設けられ、まちなかに賑わいをもたらす「テラス」を合わせた造語。「テラス」には須賀川市の未来を明るく照らしていく意味も持たせました。作品は新施設が多種多様な「あい」の交流の拠点として、多くの市民に愛され活用されながら育てられて「市民文化復興のシンボル」となり、その賑わいが、まちの活性化を創出していくことを願い愛称としました。「あいてらす」は平仮名にして親しみやすさ、温かさを表現しました。
	友久 健さん(67歳) 神奈川県鎌倉市	
賞	[須賀川ふらっと] 松本 奈穂さん(40歳) 東京都杉並区	目的がある方はもちろん、誰もが気軽にふらっと集まれる交流の場。建物の構造もイメージ。
	[てらすか] 島田 宏哉さん(39歳) 静岡県掛川市	「テラス空間」「照らす」「カルチャー」「須賀川」の意味を込めた愛称です。須賀川市の未来を照らす、文化交流空間を表現しました。

※選考基準 ①簡潔明瞭で覚えやすく親しみやすいもの
②施設の機能、特徴などを踏まえたもの
③応募者自身の創作による未発表のもので、第三者の著作権、商標権などの知的財産権を侵害しないもの



受賞おめでとうございます
(平成28年12月16日・市民交流センター愛称表彰式)

受賞者コメント
最優秀賞 箭内富子さん

「てって」とは、孫と過ごしているとき、よく使う言葉です。手と手をつなぐことで得られる安心感を伝えたいと思い、「tette」という愛称を考えました。
交流センターが、ぬくもりや笑顔であふれる施設になってほしいと思います。

ふるさと納税

お正月で帰省中の皆さん! 須賀川を応援してください

税務課(文化センター内) ☎(88)9123

全国で話題の「ふるさと納税」。市では平成20年から「好きですかがわガンバレ寄附金」としてスタートし、須賀川を応援したいという納税者が全国に増えています。帰省中のご親戚や友人に、ぜひご紹介ください(原則として市外に住んでいる人が対象です)。

須賀川をみんなのふるさとに
ふるさと納税は、「ふるさと」自分が貢献したいと思う自治体(へ納税寄附)する制度です。寄附先のふるさとに定義はなく、出身地以外でも、

「お世話になったふるさと」や「これから応援したいふるさと」など、各自が思う「ふるさと」を自由に選ぶことができます。
自治体によっては寄附のお礼として、地元の特産品などを贈っています。市でも、須賀川ならではの特産品を、全国のふるさと納税者に届けています。

“すかがわ”を味わう
特産品人気ランキング

5千円以上寄附していただいた人には、市の特産品を届けています。

1位
須賀川産
コシヒカリ新米



2位
桃(あかつき)
(季節限定)



3位
季節の
野菜セット



申し込みから申告まで

- ①申し込み
「ふるさとチョイス」または「市ホームページ」

ふるさとチョイス
市ホームページ

●電話・FAX(税務課)
☎(88)9123、(88)9124・FAX(63)2032

②寄附をする
クレジット納付、銀行口座振込などを、申し込み時にご指定ください。

③申告する
市から送られた「寄附金受領証明書」を添付し、居住地の税務署や市町村役場の申告会場で手続きしてください。

これまでにいただいた寄附

項目	平成28年度(a)	平成27年度(b)	比較(a/b)
件数	797件	198件	4.0倍
寄附額	10,035,615円	6,392,230円	1.6倍

※平成28年度は、平成28年4月1日～12月20日

寄附金の使い道(平成28年度)

項目	基金を活用する事業	基金充当額
子どもたちの健やかな成長を支援する事業	いじめ不登校対策事業(学校教育の推進)	2,712千円
美しいふるさと景観形成事業	藤沼湖下流域防災公園等維持管理事業(震災復興計画の推進)	1,300千円
安全で安心して暮らすことができるコミュニティづくり支援事業	すかがわ見守り・徘徊SOSネットワーク事業(高齢者福祉の推進)	2,300千円
すかがわならではの歴史・伝統・文化を育む生きがい創出事業	牡丹園発祥250年記念事業(観光誘客の推進)	2,000千円
計		8,312千円

納税した皆さんからの
温かいメッセージ

- 素敵な町だと実感しました。須賀川は一度訪れたことがあり、心がリフレッシュされ癒されました。震災があったので元気になってほしいと思っています。(兵庫県 Hさん)
- 以前、須賀川で働いていました。応援したく寄附します。またいつか戻ってきたいです。(京都府 Yさん)
- 震災から5年ですが、ウルトラマンのように強く頑張ってください。(神奈川県 Mさん)
- 松明のお祭りに感動しました。キュウリのおいしさも忘れられません。伝統を守る皆さんの熱い思いが受け継がれることを願っています。(東京都 Nさん)